

子どもが言うことを聞かないと思ったとき、子どもに対してどんな言葉をかけているか、ふり返って見ましょう。大人が自然に使っている言葉の中には、子どもに伝わりにくい言葉が以外に多く、耳に入っただとしても理解できていないことがあります。つまり言うことを聞かないのではなく、「わからない」のかもしれないのです。

・指示語

「それ取って」「これ片づけて」など「これ」「それ」「あれ」といった言葉は、わかりにくい。

「おもちゃを箱に入れて」「お皿を取って」など目的語を具体的に言います。「車のおもちゃ」など、より細かく説明するとよいでしょう。

・抽象的な言葉

「大切に取って」「なかよくしなさい」など、抽象的な言葉はわかりにくい。

「本は破らない」など、具体的に伝えます。ただ、このような抽象的な言葉も、少しずつわかるように伝えていく必要があります。

・言葉の省略

「早くしなさい」といった言葉は、目的語が省略されているため、何を早くどうするのか、わかりにくい。

「ごはんを早く食べよう」など、



※言葉通りのことはわかってても、相手の裏の思いを察することが苦手な子どももいるので、注意が必要です。

「勝手にしなさい」と言われたので、本当に勝手にすると怒られる。本当にしてほしいことを「○○してね」とシンプルに伝えます。状況を把握して相手の思いを察することができるようになると、「人は感情的になると『勝手にしろ』と言うが本心ではない」と理解できるようになります。

何をするのか省略せず具体的に言います。「早く」「ゆっくり」「少し」「たくさん」などの程度を表す言葉も伝わりにくいことがあるので、数字で示したり、分量が目でわかるなどの工夫も考えるとよいでしょう。

言葉

・ 本当の思いとギャップがある

連載・青少年健全育成シリーズ 第260回

「わかりにくい言葉…？」

毎月第1日曜日は「家庭の日」

毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。

青少年育成都留市民会議編集委員

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合先：行政管理課 秘書広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額 / 枠	備考
裏面	カラー	20,000	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,000	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月

⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。

掲載状況につきましては、下記をご参考としてください。
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄